

News

2004年春号

特定非営利活動法人

都市生活コミュニティセンター

〒663-8231 西宮市津門西口町7-3

TEL 0798-36-6679 FAX 0798-36-5114

震災10年を考える

理事 角田 学 (生協都市生活)

来年の1月17日で、阪神淡路大震災から10年を経過することになる。センターでも生協都市生活でも04年度の方針計画を策定するにあたって、10回目の「1.17」をどのような迎えるのかということの議論が続いている。行政や市民団体など周囲でもすでに10年目に向けて、動き出しているところも多い。

センターの周辺では、この10年の活動を反映して、「やはり、NPO・市民活動だ」・「気付きは、地域に根差した活動だ」・「もちろん地域福祉だ」・「介護保険事業が大きい」・「たすけあいだ」・「公的補償制度も片付いてない」・「自然災害救援も取組んだ」・「アフガン、イランだ」とさまざまな声が出てくる。どれをとっても間違いではない、かといってどれもすべてではない。

「05・1・17」を基点に、ひとりひとりの10年がある。そうしたひとりひとりの10年をたどることができないかと思う。あの日唐突に、理不尽に、時を奪われた6000を越える人たちのこ

とを考えると、「あのときはなあ」と思い出す話にはしたくない。今、現在につながることでこの10年を語りたいと思う。日々の積み重ねを、10年を区切りに振り返ってみることで、この先の道標になるものが見えてくることもあるだろう。そのような10年を考える機会をつくれなにかと思う。

もちろん、ここに住むものだけのことではない。あの時、つながった全国の多くの方にとっても、同じはず。それぞれが、何ができ、何ができなかったのかどのように今現在につながっているのかを知りたいと思う。

生協都市生活にとっても、そしてその都市生活に全国から寄せられた支援を起源にもつ都市生活コミュニティセンターにとっても、自分たちがこの10年何を考え、何をやってきたのか、この地で様々に取組まれるであろう「10年目の検証」の中で、確かめていきたいと思う。

現在 計画されている主な10年事業 (予定)

4月1日現在

■市民とNGOの「防災」国際フォーラム

○日時：2004年12月10日～12日○主催：市民とNGOの「防災」国際フォーラム実行委員会

■国連防災世界会議＜21世紀の新しい防災戦略を議論＞

●日時：2005年1月18日～22日○会場：神戸市○主催：内閣府、国連加盟国他

■人と防災未来センター＜新しい防災研究のあり方をテーマとするシンポジウムの開催＞

○日時：2005年1月○主催：学術誌創刊記念シンポジウム実行委員会○会場：HAT神戸内

新聞記事より

■ 原告敗訴するも裁判所は、財政計画、空港の安全性に疑問を呈示

差し止め請求を棄却 2004/03/30 付の神戸新聞より

●神戸空港訴訟 神戸市沖に建設中の神戸空港をめぐる、市民団体「ミナト神戸を守る会」（東條健司代表）のメンバーらが神戸市長らを相手に、2003年度の関連予算334億円の支出差し止めと、すでに空港整備に支出した約575億円を市に返還するよう求めるなどした訴訟の判決が30日、神戸地裁であった。紙浦健二裁判長は原告の訴えをいずれも退けた。●判決理由で紙浦裁判長は「大阪湾岸には、すでに関西国際、伊丹空港があるのに、神戸空港が必要なのか、素朴な疑問がある」と指摘した。しかし、「神戸市民にとって必要性が全くないとまでは言えず、予算支出も市長の裁量を逸脱する違法なもの認めがたい」と述べた。●判決では空港の必要性のほかに、財政計画、空港の安全性に言及。財政計画について、同裁判長は空港島の土地処分がほぼ不可能であることを踏まえた上で「財政に悪影響を与える可能性がある」などと指摘。開港時、年間319万人とした需要予測については「大きくはずれ、空港管理収支自体が成り立たないおそれもある」とした。また、安全性も「問題がないとはいえない」との見解を示したが、いずれも「予算支出が違法であるとは認められない」と結論付けた。(以下略)

～インフォメーション～

ホームヘルパーのための
スキルアップ講座
(ターミナルケアについて学ぶ)

黒田裕子氏（日本ホスピス・在宅ケア研究会副理事長）を再びお迎えして、居宅において人生の終末を迎える利用者や家族に対し、ホームヘルパーとして必須の心構えや具体的な対処を学びます。

8月1日（日）
8月29日（日）
9月5日（日）

3回連続講座です。

会場、時間、料金など詳しくは次号でお知らせします。

～地域活動ステーション～

(都市生活コミュニティセンターは今年度も生活復興県民ネットより指定されました)

★どんなところ

○住民の身近なところで、地域の情報交換や交流ができるコミュニティづくりの拠点です。

●どんな活動

○情報提供=生活復興県民ネットの情報ネットワークシステム「ひょうごコミ2ネット」を通して地域活動に関する情報の提供や、パンフレット等の掲示。また、地域での独自の情報も提供しています。

○また、当センターを利用した地域住民の交流事業・イベント等も開催できます。(企画やご希望をお寄せ下さい！)

2003 年度☆介護保険事業報告

★あ・し・す・と（垂水）

★あしすと武庫之荘（尼崎）

●現在、2つの事業所を拠点に都市生活組合員が中心となってヘルパー派遣事業を行っています。

●武庫之荘では居宅介護支援事業（ケアプラン）も行っています。

